

太刀 銘 備州長船祐光 / 文安五年二月日 万治元年戊閏十二月廿六日 三ツ胴切落 山野加右衛門尉永久華押

法量 刃長 643mm 反り 15mm 元幅 26.8(28.1)mm 元重 5.6mm 鎗重 6.6mm 先幅 16.9(17.8)mm 先重 3.3mm 先鎗重 4.2mm

形状 鎗造り、庵棟、浅く腰反り僅かに先反りこころ。

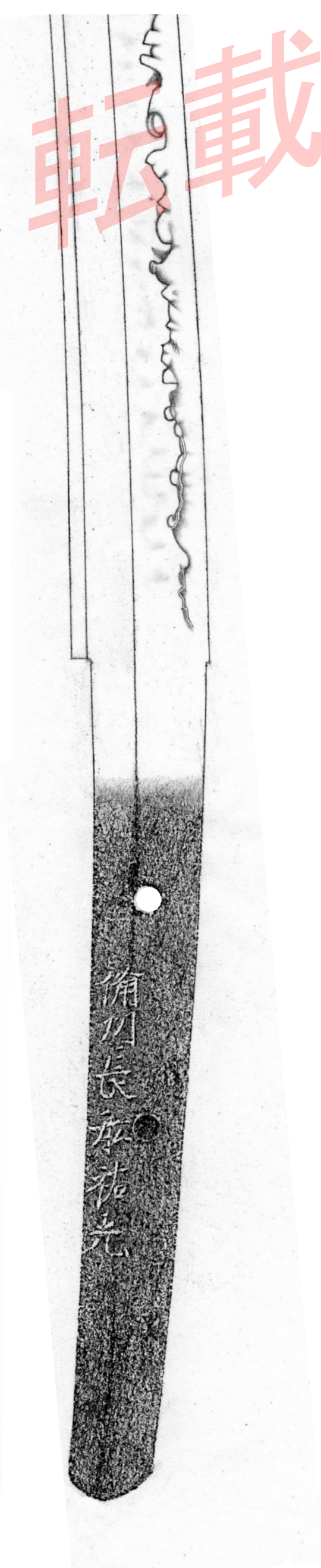
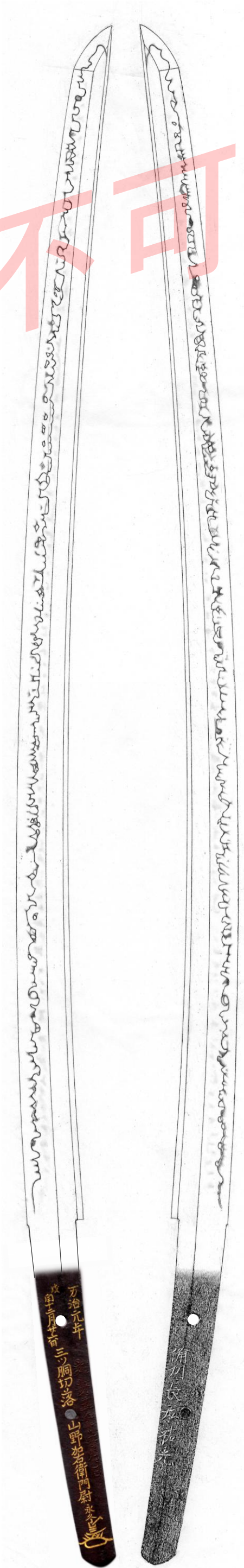
鍛 小板目に小柰目交えて精良によくつみ、幽かな乱れ映りが立つ。

刃文 小互の目に小丁子交え、小足、葉よく入り、一部重花丁子風となり、佩き裏中程に刃淵に沿って匂い筋が入る。

帽子 乱れこんで先小丸に短く返る。

茎 生ぶながら若干区を送り、先刃上り栗尻、鑢目勝手下り、棟鑢は切。

第61回重要刀剣指定



縮小率 45%